ふくやま草戸千軒ミュージアム ニュース

～第131号～

広島県立歴史博物館

HIROSHIMA PREFECTURAL MUSEUM OF HISTORY

近世文化展示室
菅茶山の世界

福山城築城400年記念事業
第19回全国藩校サミット福山大会関連事業

菅茶山と交流した藩儒たち

令和４年10月7日|金| ▶ 12月4日|日|

谷文晁画「対嶽楼宴集当日真景図」（部分）　（『栗山堂餞宴詩画巻』）（当館蔵）

中国の風景？いいえ，茶山の仲間たちです。

今回の近世文化展示室「菅茶山（かんちゃざん）の世界」では，『第19回全国藩校サミット福山大会』開催を記念して，菅茶山と交流のあった幕府や藩の儒学者を取り上げ，彼らから茶山に贈られた作品や資料を公開します。

上の絵は，描かれた人が皆中国風の服を着て，酒を酌（く）み交わしたり，絵を描いたり，書を書いたりしています。この絵を見た人は，「これって中国を描いた絵？」って思うでしょうが，巻物の巻いてある方向にしたがって場面を進めていくと…，「富士山」が登場し，日本を描いた絵なのだと気づかされる仕掛けになっています。

この絵を描いたのは文人画家で白河藩の絵師谷文晁（たにぶんちょう）。画題になったのは，文化元年（1804），菅茶山が江戸から神辺に帰省する際，駿河台で開いた送別の宴の様子です。描かれている人々は皆，幕府や藩の儒学者・絵師で，茶山が親しくしていた人たちです。この絵は，谷文晁から贈られました。

これは絵なので，説明書きはありませんが，見る人を楽しませる趣向（しゅこう）（仕掛け）が施されているのです。

詳しくは2頁へ　▶▶

描かれた人物を考える

この宴に参加した人物は,柴野栗山,古賀精里,尾藤二洲（幕府儒者）,岡田寒泉（旗本･元幕府儒者）,倉成龍渚（中津藩儒者）,岩瀬華沼（島原藩儒者）,頼杏坪（広島藩儒者）,谷文晁（白河藩絵師）,鈴木芙蓉（徳島藩絵師）,そして主催者の菅茶山（福山藩儒者）です。ここでは,資料に記された外見的特徴等から誰がどこに描かれているのかを探ってみましょう。

「先生の人為,躯幹偉にして方面高顴,老いるに及んで朱顔白髪…」（先生はがっしりした体つき,顔は四角で赤みがかっていて白髪頭…）

（頼山陽「茶山先生行状」）

まず,画面の中央の席で客をもてなしている人物。この宴の主催者である菅茶山と考えられます。

さらに,茶山の外見的特徴には,がっしりしていて,四角顔,頬骨がでている,赤ら顔で白髪頭。この描かれた人にぴったりですね。

「先生肥大なり, 栗翁目して謂わく 萬斤の牛」（先生は太っている。栗山がいうには,大きな牛のようだ）

（頼杏坪「追憶江都亡師友諸賢」）

茶山と同じ席に座るこの太った人物。古賀精里です。「斤」は重さ約600グラム,「萬斤」では6トン!?。「大きい」ということを表すために萬という単位を使っています。描かれた人物で一番大きく描かれた人,この人が古賀精里で決まりですね。

「性又遊を好み、凡そ天下の名勝、率多足跡を著す」（各地を訪れることが好きで,名所にはほとんど足を運んでいる）

（樺島公礼「龍渚先生墓碑銘」）

富士山を眺めているこの人物は,中津藩儒の倉成龍渚と考えられます。理由は墓碑銘にあるように各地の名勝を訪れていること,この巻子に収められている龍渚の詩に「富嶽の雲　瀛海の波」という句が出てくること,そして,翌年の文化2年（1805）には,実際に富士山に登っていることから,倉成龍渚と考えられます。

この絵巻物を見る人は誰か。菅茶山です。茶山はこの絵を見る度に,その人の外見的特徴だけでなく,性格や嗜好等も表現した絵で,当日の宴を思い出したでしょう。晩年の茶山が生涯で忘れられない思い出の一つとして挙げています。

近世文化展示室では,守屋壽コレクションの展示も同時開催しています。
今回のテーマは「城絵図と藩校」です。岡山,広島,松前,岡崎の城絵図等を紹介します。

入館料／一般290円（220円）,大学生210円（160円）,高校生まで無料　※（　）は20名以上の団体
休館日／月曜日

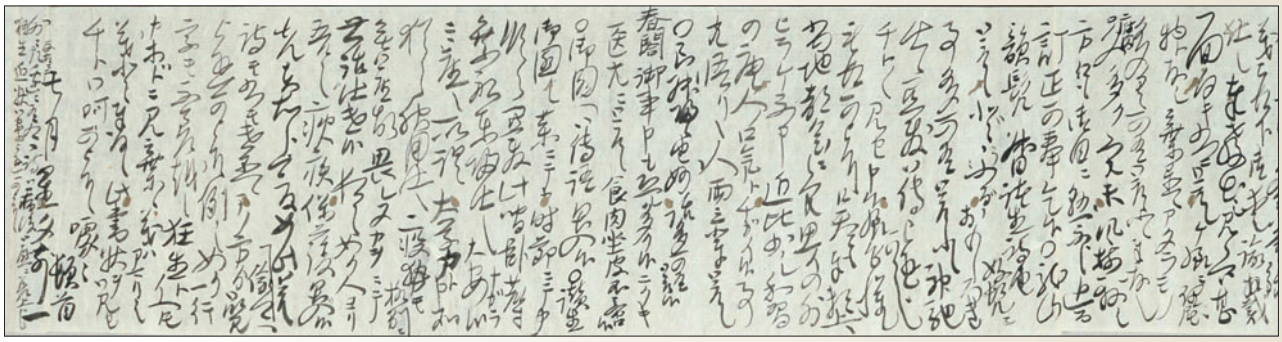
頼山陽史跡資料館

企画展「青年頼山陽」 令和4年 10月20日（木）～12月11日（日）

今年（2022）は,頼山陽の没後190年にあたります。今から91年前の昭和6年（1931）,頼山陽没後百年祭が行われました。頼山陽先生遺蹟顕彰会によって『頼山陽全書』が刊行されたのもこの年のことであり,その編者が木崎好尚（きざきこうしょう）です。木崎好尚は頼山陽に関する著作を数多く遺していますが,その中の一冊に『青年頼山陽』があります。山陽の誕生から広島を離れて神辺の菅茶山の許へと旅立つまでの30年間の事跡について書かれたもので,今回の企画展「青年頼山陽」は,この本に触発されて企画したものです。本展では,数少ない資料や作品を繙きながら,頼山陽青年期の実像に迫っていきます。

ここで紹介したいのは,山陽が叔父春風（しゅんぷう）に宛てた手紙です。

この手紙には,病後の慰めにと反古紙（ほご）にしたためた自作の詩を添えていたようで,「狂生近状御察被遊可被下候（きょうせいきんじょうおさっしあそばされくださるべくそうろう）（狂生(※)の近況をお察しいただければ幸いです※狂生:常人と異なった言動をする人）」と結んでいます。再三「狂生」と書いているように,己の不安定な精神状態を自覚していたのでしょうか。「禿筆匆々乱毫（とくひつそうそうらんごう）（ちびた筆で,大急ぎで乱雑にしたためました）」と自ら記したその書きぶりはそれを投影しており,心の中に不安や不満を抱え,精神的に不安定な状態にあったことを物語っているのではないでしょうか。山陽が出奔し,脱藩騒動が起こるのは,その二ヶ月後のことです。



頼山陽書簡（頼春風宛:寛政12年（1800）7月6日　部分）竹原春風館蔵

■会　　場／頼山陽史跡資料館（広島市中区袋町５-15）　TEL：082-298-5051
■時　　間／９:30～17:00（入館は16:30まで）
■休 館 日／月曜日
■入 館 料／一般：300円（240円），高校生・大学生220円（180円），
小・中学生150円（120円）65歳以上無料
※（　）は団体20名以上の料金
■関連行事／①展示解説会
日時：10月29日（土），11月12日（土）・26日（土）13：30～
解説：当館学芸員
②頼山陽文化講演会（公益財団法人頼山陽記念文化財団主催）
日時：11月3日（木・祝）14：00～
会場：合人社ウエンディひと・まちプラザ（広島市まちづくり市民交流プラザ）
６階マルチメディアスタジオ
講師：棚橋（たなはし）久美子（くみこ）氏（広島大学客員教授・元広島県文化財保護審議会委員）
演題：「広島藩儒頼家の後継者育成と頼山陽」
定員：60名（要申込・先着順）
聴講料：無料
申込み：Eメールか電話でお申込みください。
e-mail：info@raisanyou.com，TEL：082-542-7022

RAISANYOU

新型コロナウィルス感染症予防と拡散防止についてのお願い

ふくやま草戸千軒ミュージアム（広島県立歴史博物館）では，次のように対応を行っています。
御来館予定の皆様には，御理解と御協力を賜りますようお願いします。（令和4年10月１日現在）

■御来館いただくまでに

○次の項目に該当する場合は，御来館を御遠慮ください。
・発熱・せきなどの症状がある場合。
・新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合。
○館内・展示室内の密接・密集を避けるため入館や入室の制限を行うことがありますので，あらかじめ御了承ください。
○団体のお客様は，同時入館できる人数に制限があります。受付にお尋ねください。

■御来館いただいてから

○御来館時に体温の確認をさせていただきますので御協力をお願いします。なお発熱がある場合は入館できませんので，あらかじめ御了承ください。
○緊急時，保健所等の関係機関に速やかな連絡を行うことを目的に，連絡先の御記入をお願いしております。御協力ください。
○館内ではマスクの着用をお願いします。

■御見学中は

○入館券購入の際や見学中は，床に示してある動線などに従い他のお客様との間隔を２メートル程度あけてください。
○各所に設置しております消毒用アルコールや洗面所の液状せっけんにより手指の消毒やこまめな手洗いに御協力ください。
○館内では，大きな声での会話などをお控えいただくようお願いします。
○入館中に気分が悪くなった場合，お近くのスタッフにお声がけください。その他，入館中は，スタッフの指示に従ってください。

広島県立歴史博物館友の会からのお知らせ

◇あなたも，友の会の会員になりませんか？

友の会では，令和４年度の会員を募集中です。
友の会の会員には，博物館が主催する展覧会を無償で観覧できるなど，特典が盛り沢山です。

歴史や文化に興味をお持ちの方は，ぜひ友の会にお入りください！！

友の会の活動については，QRコードから御確認いただけます。

令和２年度の会員証は，令和５年４月30日まで有効です！
（有効期間さらに１年延長してます！）

新規の会費は次のとおりです。

一般会員	2,000円
学生会員	1,000円
家族会員	3,000円（同居家族５名まで登録できます。）
賛助会員	7,000円（会員証を４枚発行します。）

◇令和４年度　友の会の役員です。よろしくお願いします。

役職	氏名	役職	氏名
顧問	植田　千佳穂	理事	八幡　浩二
会長	神谷　和孝	理事	濱田　宣
副会長	小林　暢善	常務理事	佐藤　哲義（当館館長）
理事	篠原　芳秀	監査	尾多賀　晴悟
理事	西別府　元日	監査	桑田　直美
理事	古瀬　清秀		

◇博物館の令和４年度の組織と職員です。（４月１日現在）よろしくお願いします。

館長　佐藤　哲義　　歴史博物館アドバイザー　加藤　謙

総務課

課長	◎桧山　敦
主査	川上　慎治
主任	橘高　真理
文化施設事務従事員	村上　祐太
ワークサポート職員	◎槙原　葵

学芸課

課長	◎石橋健太郎
主任学芸員	岡野　将士
主任学芸員	久下　実
主任学芸員	渡部　史之
文化施設事務従事員	細谷　紗桜

草戸千軒町遺跡研究所

（兼）所長	◎石橋健太郎
主任学芸員	尾崎　光伸
主任学芸員	大上　裕士
学芸員	猪熊はるの
学芸員	◎山川　聡大
学芸員	下津間康夫
文化施設事務従事員	吾田　朱里

（分館）

頼山陽史跡資料館

（兼）館長	白井比佐雄
（兼）主査	宮浦　貴
主任学芸員	花本　哲志
学芸員	川邊あさひ
主任	◎井上　栄三
（兼）主事	北浦　沙栄
文化施設事務従事員	山口　邦子 井上麻由子

◎は新任又は昇任。このほか，広島県立歴史民俗資料館職員が，当館学芸員を兼務しています。

ふくやま草戸千軒ミュージアム（広島県立歴史博物館）ニュース　第131号

編集・発行　　令和４年10月20日

ふくやま草戸千軒ミュージアム（広島県立歴史博物館）
HIROSHIMA PREFECTURAL MUSEUM OF HISTORY

〒720-0067 広島県福山市西町二丁目４-１
TEL 084-931-2513　FAX 084-931-2514
e-mailアドレス rhksoumu@pref.hiroshima.lg.jp
ホームページ https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/rekishih/
ツイッター https://twitter.com/hiroshima_prhk

▲ホームページ　▲ツイッター